

## 平成26年度 第2回阿見町地域公共交通活性化協議会 会議録

会議の名称	平成26年度 第2回阿見町地域公共交通活性化協議会
開催日時	平成27年2月26日（木）午後2時00分～午後3時30分
開催場所	阿見町役場 4階 全員協議会室
出席者	委員：21名（うち7名代理） ※委員総数29名 事務局（都市整備部都市計画課） ：都市整備部長…篠崎 慎一 ：事務局長……大塚 芳夫 ：事務局員……小松澤 智，福岡 秀昭，市崎 健太 ：茨城大学工学部教授…山田 稔
傍聴人数	0人
会議の議題 および会議 資料の内容	1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 委員紹介 4. 議事 （1）協議事項 【議案第1号】平成27年度事業計画（案）について 【議案第2号】平成27年度予算（案）について （2）報告事項 【報告第1号】平成26年度阿見町デマンドタクシー〈あみまるくん〉の利用者登録状況と利用状況について 【報告第2号】平成26年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について 【報告第3号】平成26年度 茨城大学への受託研究に関する経過報告について 調査研究の結果（中間報告） 5. その他 6. 閉 会
配布資料	<input type="checkbox"/> 名簿及び席次表 <input type="checkbox"/> 協議会次第 <input type="checkbox"/> 平成27年度事業計画（案）について <input type="checkbox"/> 平成27年度予算（案）について <input type="checkbox"/> 資料1：歳入歳出予算項目別明細書 <input type="checkbox"/> 資料2：阿見町デマンドタクシーあみまるくん利用者登録状況と利用状況 <input type="checkbox"/> 資料3：平成26年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について <input type="checkbox"/> 資料4：平成26年度 茨城大学への受託研究に関する経過報告について
議事の経過 及び発言の 要旨	別紙のとおり

<p>事務局長 (大塚課長)</p>	<p>それでは定刻でございますので、只今より平成26年度第2回阿見町地域公共交通活性化協議会を開催させていただきます。本日は、お忙しいところご出席をいただきまして、ありがとうございます。私、都市計画課長の犬塚と申します。よろしくお願いいたします。それでは、本協議会を代表しまして、天田会長よりご挨拶を申し上げます。</p>
<p>議長 (天田町長)</p>	<p>本日はお忙しい中、第2回阿見町地域公共交通活性化協議会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。また、日頃より当町の公共交通政策についてご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、当町において、昨年度より本格運行となりましたデマンドタクシー「あみまるくん」も2年目となり、利用者数も1月末時点で9,031人と、昨年同時期よりも321人増加しており、「あみまるくん」の認知度も年々高まっているものと感じているところであります。しかしながら、公共交通のさらなる充実を求められている状況もあることから、現在運行されているデマンドタクシーの運行体系の見直しや路線バスの充実など、町民ニーズを的確に捉えながら、新たな公共交通体系の構築を進める必要があります。</p> <p>本日は、平成27年度事業計画(案)並びに予算(案)等についてご審議いただくものであります。委員の皆様におかれましては、町公共交通のさらなる効果的・効率的な移動手段の確保や課題の整理、解決の方向性についてご検討いただき、当地域公共交通の利便性の向上につなげていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>司会 (大塚課長)</p>	<p>ありがとうございました。当協議会の委員にも若干の変更がございましたので、改めてご紹介させていただきたいと存じます。新たに委員となられた方々には、大変恐縮でございますが、時間の都合上委嘱状の交付は省略させていただき、お手元に委嘱状をお配りさせていただいておりますので、宜しく願いいたします。初めて顔を合わせる方々もいると思いますので自己紹介という形をとらせていただきます。お手数ですが、柴原委員より順にお願いします。</p> <p style="text-align: center;">(各自自己紹介後、名簿にて欠席委員の紹介)</p> <p>次に、事務局でございます。</p> <p style="text-align: center;">(事務局各自自己紹介)</p> <p>ありがとうございました。続きまして、資料の確認をお願いいたします。お手元の配布資料一覧をご確認ください。</p> <p>事前配布資料といたしまして</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 協議会次第</li> <li><input type="checkbox"/> 平成27年度事業計画(案)について</li> <li><input type="checkbox"/> 平成27年度予算(案)について</li> <li><input type="checkbox"/> 資料1：歳入歳出予算項目別明細書</li> <li><input type="checkbox"/> 資料2：阿見町デマンドタクシーあみまるくん利用者登録状況と利用状況</li> <li><input type="checkbox"/> 資料3：平成26年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について</li> </ul>

<p>議長 (天田町長)</p>	<p>本日の配布資料として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 名簿及び席次表（両面）</li> <li><input type="checkbox"/> 資料４：平成２６年度 茨城大学への受託研究に関する経過報告について</li> </ul> <p>配布させていただきました。資料の不足はございませんでしょうか。それでは、これからの議事の進行につきましては、当協議会規約第９条第１項の規定に基づき、会長に議長をお願いいたします。</p> <p>これより議事進行を務めさせていただきます。当協議会の議事がスムーズに進行できますよう、皆様方のご協力を、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議ですが、委員29名のうち、21名の出席をいただいております。協議会規約第９条第２項の規定により、委員の過半数が出席していることから、会議が成立していることを報告させていただきます。出席者につきましては、配布した名簿のとおりとなりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>次に、本協議会は、公開の審議となっております。協議会 会議運営 規程第２条第２項により傍聴者を募集したところ、申込みはございませんでしたので、皆様にご報告いたします。</p> <p>次に、協議会会議運営規程第6条により、議長が会議録署名委員を指名することとなっておりますので、本日の会議録の署名委員を武藤委員、福田委員にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事を進めます。</p> <p>次第の４（１）協議事項でございます。</p> <p>【議案第１号】平成２７年度事業計画（案）について及び【議案第２号】平成２７年度予算（案）について、一括して事務局の説明を求めます。</p> <p style="text-align: center;">（ 事務局説明・市崎主事 ）</p>
<p>議長 (天田町長)</p>	<p>ありがとうございました。それでは、ここで、ご質問等をお受けしたいと存じます。ご質問等のある方は挙手の上ご発言願います。</p>
<p>海野委員</p>	<p>予算の関係ですが、減免される方々の割合と、予約のキャンセルはどのくらいあり、またキャンセル料の徴収はどのように行っているのか。</p>
<p>市崎主事</p>	<p>まず、減免に関する質問ですが、25年度のデータですと乗車する方の約４割が減免対象となっております。次にキャンセルに関してですが、事前に連絡をいただいた場合、キャンセル料は発生しません。連絡なしでキャンセルした場合は、次回乗車時に1乗車分の料金をいただいております。</p>
<p>議長 (天田町長)</p>	<p>実際にそういう事例はあったのかどうか。</p>
<p>市崎主事</p>	<p>実際に後日頂いた案件もあります。</p>

海野委員	システムの話は分かったが、実際に回収できる割合はどの程度なのかを訊きたい。
市崎主事	連絡なしでキャンセルした方全員からキャンセル料を徴収することは難しい状況です。次回乗る方からは徴収出来ていますが、1回キャンセルされて二度と乗らない方もいますので、100%の徴収率ということではありません。
事務局長 (大塚課長)	利用されている方の80%が高齢者ということで、1回でわかったと言っても、2回目もまた同じことをしてしまうこともあります。そういう中で、何回も続くようであれば事務局の方でその方の自宅まで出向いて、指導し、理解して頂けるように努めてはおります。
海野委員	シルバーセンターの方で予約は受けているようだが、相互に意思疎通を取っていても、認識がずれることがあると聞きます。そうすると、丁寧にシステムの説明をすることが必要だと感じます。以上です。
議長 (天田町長)	他に何かございますか。
熊谷委員	この件に関して、シルバークラブの単位ごとの会長が集まった時にデマンドタクシーのキャンセル料についての話題がでた。乗らないのに料金を取るのはどういうことかと。このデマンドタクシーの利用者のほとんどが高齢者と健康に異常のある方だ。乗ってないのに料金を取るのはどうなのか。そして、次回乗車時に徴収と言っても、運転手はその利用者の顔を覚えているのか。先ほどの意思疎通の話にしても、相当煩雑な事務になるので、なかなか100%徴収するのは難しいのではないかと。もう1つは、これから、後期高齢者が多くなっていくなかで、利用率は多くなっていくだろう。高齢者の方からの意見で、土日にも利用したいという声が出ている。私たちの行事は年間で20回ほどありますが、土日の利用が出来ないと、例えばお年寄りの子や孫が来た時の交通手段の確保が難しい。そのあたりの配慮をして頂けないかとの要望もある。そして、私は上郷に住んでいて、地元地区の行事にも参加しているが、その行事の場であみまるくんのPRや制度の説明等をして頂ければ、さらに周知が図れるのではないかと。これは質問ではなく意見として受け取って下さい。
事務局長 (大塚課長)	PR活動としては年に何回か広報あみやホームページで行っております。去年はさわやかフェアに出展し、あみまるくんの実物を展示して、登録や利用方法の説明を行いました。その中では、あまり関心を示す方は少なかったですが、事務局でもPRの方法を考えながら行っていこうと考えております。あみまるくんの登録者数についてですが、全登録者が利用している訳ではないので、来年度の事業計画にもある通り、全登録者に対する周知を図る予定です。
議長 (天田町長)	ペナルティがないと、いつだってキャンセルできることになってしまう。そうすると事業者が困ってしまう。金額がどうのではなく、一定のペナルティは設けるべきだろうと思います。

海野委員	利用料は運行事業者に入るのか。
市崎主事	利用料は協議会の方に入りまして、運行事業者には委託料を支払っています。
海野委員	それでは、運行事業者はキャンセルがあろうがなかろうが一定の委託料は入っているということで、特に影響はないんでしょう。
井嶋委員	あんまりキャンセルされたんでは良くはない。
事務局長 (大塚課長)	デマンドタクシーは乗合のタクシーであって個人のタクシーではないです。目的地に行って予約した人がドタキャンしてしまうと、次に乗る人に影響が出てしまう。その辺はお互いがルールとして認識してもらいたい。
議長 (天田町長)	<p>他にございますか。それでは、お諮りします。【議案第1号】平成27年度事業計画(案)について及び【議案第2号】平成27年度予算(案)について、ご異議ございませんか。ご異議がなければ、拍手を持ってご承認をお願いいたします。</p> <p>それでは、【議案第1号】及び【議案第2号】については、原案のとおり承認されました。</p> <p>続きまして、(2)報告事項でございます。【報告第1号】平成26年度阿見町デマンドタクシー&lt;あみまるくん&gt;の利用者登録状況と利用状況について、事務局の説明を求めます。</p> <p style="text-align: center;">(事務局説明・市崎主事)</p> <p>ありがとうございました。それでは、ここで、ご質問等をお受けしたいと存じます。ご質問等のある方は挙手の上ご発言願います。</p>
海野委員	3台の運行で、26年度1カ月で862名、1台平均約30名になっている。土日は運行しないとのことなので1カ月で20日程だ。いま、実車率はどうなっているのか。
市崎主事	利用者を実際に乗せている割合ということですか。
海野委員	そうです。
市崎主事	申し訳ありませんが、今すぐに実車率の回答はできません。
議長 (天田町長)	<p>他にありませんか。</p> <p>続きまして、【報告第2号】平成26年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について、事務局の説明を求めます。</p> <p style="text-align: center;">(事務局説明・市崎主事)</p>

議長 (天田町長)	ありがとうございました。それでは、ここで、ご質問等をお受けしたいと存じます。ご質問等のある方は挙手の上ご発言願います。
海野委員	先ほどの、運行エリアを3つに分けるということについての説明は、資料4であるのか。
市崎主事	このことについては、来年の協議会で報告はさせていただく予定です。現段階での報告はありません。
田村委員	バス会社の方もおられるので質問ですが、あみまるくんはバスとの接続も考えているのか。
事務局長 (大塚課長)	現行のデマンドタクシーが町外まで運行できるようにするべきだということですか。
田村委員	そうです。
事務局長 (大塚課長)	阿見町ですとJR荒川沖駅がありまして、当初は阿見町と荒川沖駅の境までしか行けませんでした。要望を受けて、企画財政課の時に乗り入れが実現しました。駅前のロータリーまでは行けませんが、手前までは行けるようになりました。ロータリーまで行けない理由としては、交通事業者さんのテリトリーのようなものがありまして、中々そこまでは協力を頂けないというのが現状です。
田村委員	それは筑波大病院をイメージしているのか、それとも協同病院をイメージしているのか。
事務局長 (大塚課長)	筑波大であれば荒川沖駅の東口からバスが出ていますよね。駅までデマンドタクシーで行ければ、そこからバスで行くことができます。協同病院となると、荒川沖駅からは遠くなってしまうので、そうすると土浦駅しかないということになってしまいます。実際、土浦駅への乗り入れというのは難しいという実情はあります。
田村委員	バス会社の車庫までマイクロバスで突っ込んで行って、入っていくことはできないのか。そこに停留所をつくるのか。というのも、今の話を聞いていると、東京医大だけが病院のように見える。実際は協同病院や筑波大病院に行く人もいる訳だから、そういう人に向けた施策を考えているかどうか知りたい。今すぐではなくとも、今後検討する気があるのかどうか。
事務局長 (大塚課長)	先ほどの話にもありましたが、高齢者が多くなってきて、免許を返納し、移動が困難になってしまう方も出てくるなかで、そういう需要があるのであれば、考えなければならないかもしれない。しかし、これは阿見町だけではなく広域で議論しなければならない。つくば市でも土浦市でもそれぞれのテリトリーがありますので、研究しなければいけないと思います。

議長 (大塚課長)	他にありませんか。続きまして、【報告第3号】平成26年度 茨城大学への受託研究に関する経過報告について、事務局の説明を求めます。
	(事務局説明・茨城大学山田教授)
議長 (天田町長)	ありがとうございました。それでは、ここで、ご質問等をお受けしたいと存じます。ご質問等のある方は挙手の上ご発言願います。
北嶋氏 (金澤委員 代理)	調査のなかで、電話がつながりにくいところがあるが、回線は何本あるのか。
市崎主事	オペレーターが2人で、電話回線は2本、子機が2つです。
山田教授	ヒアリングの中で色々な意見が出てきて、1回あたりの利用者とのやりとりの時間をもっと短く出来ないか等、重要な指摘がありました。
議長 (天田町長)	他に何かございますか。
海野委員	1ページですが、キャンセルは30分以内と30分以上で、不成立は、元々これじゃあとれないから予約は取らないということですよ。キャンセルの上2つは、予約したけれどもキャンセルしたと。日にもよるが、20%から25%は実際に乗らなかったという形になる。不思議なのは、このキャンセルした人たちがどのような手段でその後移動したのか解析はしたのですか。
山田教授	きちんとした統計的にはやっておりませんが、いくつかサンプルを見てみると、半分くらいが他の時間に予約を入れなおしている。ヒアリングでの指摘でもありましたが、病院帰りの時間が分からないけれどもいい加減に予約をしてしまう人と、予約をしないで当日になって、電話をかけて予約を取ろうとしても乗れない方との不公平感がオペレーターとしては気になるようで、そういう形でのキャンセルが半分くらいあるのかなど。あとは、オペレーターさんから聞いた話ですが、病院で知っている人の車に乗るケースもあるそうです。
海野委員	非常に良く分析されていると思うが、20分幅でやってみる、次は1時間幅でやってみるということで、実際に行ったときに、利用率が低下してしまっただけは問題かなと思う。新しい提案が出るようだが、利用者の目線に立って行ってほしい。
山田教授	私も外からお手伝いしていて、どの立場で行うかを決めるのも難しい所ではありますが、利用者に納得して頂けるような形にしたいと考えております。
海野委員	最後に1つ、中央地区の中で回すと予約が取りやすく、縁辺部が取りにくいという

	<p>ことになっていて、本来公共交通は補完的な役割を果たすものだが、交通手段がない地域だと補完的ではなく主幹的な役割になってしまうので、本来の機能を果たせるようになるようお願いしたい。</p>
山田教授	<p>私も、まさにそのあたりの議論を皆さんにやって頂きたいと思っていて、関係する統計等もやっていきたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
熊谷委員	<p>今回の最後の所の、予約の最適化という所で、オペレーターの方が実際に予約を受けて、そして、運転手さんに伝えられるシステムは出来ているのですか。</p>
山田教授	<p>現状では、システムが決めたものがオペレーターと運転手の方に流れるようになっています。次年度はコンピューターで自動で出来るようにならないかという想定で今年調査しております。今はオペレーターと運転手がマニュアルでやっております。システムに反映出来ないので、個別で紙に書いているそうです。そこで、最適化のボタン等を付けて、うまく反映できるかどうか検討しなければと感じています。</p>
熊谷委員	<p>難しい作業をコンピューターの方に任せることになるが、簡便に出来るようになるのか。</p>
山田教授	<p>そのあたりに今回のヒアリングの成果がありまして、オペレーターの方たちは今のシステムが出している運行計画を見れば効率が良いか悪いかわかるそうです。私どもで最適化のボタンを追加するのは未定ですが、少なくともそういう形のもので人の目でチェックできるものを出力できれば、それを作る手間も省けると思います。それを車載器の方に反映できるかが課題になります。</p>
東海林委員	<p>2点ほどお願いがございます。1点目は、今の報告から具体的な改善案がでてきましたが、次年度の当初からすぐに取り組める事がありますか。</p>
山田委員	<p>今年度は6つの時間帯での検証しか報告できていませんが、これを広げて、1日分について組み替えたものを作成しております。次年度については、いくつか課題がありますので、今年度中には洗い出しをして、運行事業者と調整しするところから手をつけようと考えております。</p>
東海林委員	<p>もう1点が、今のシステムそのものが長い目で見て、続けていけるのかという大きな評価も別途必要なのかなと思います。今の車両台数や運行時間帯は適切か等、そこは実施しているのですか。</p>
山田教授	<p>利用が増えたときにどうなるのかというと、他の市町村の事例からは、利用者増加に伴って増車をしているというのが、今の日本でのデマンドの標準的な所です。しかし、同時に経費も増えてしまうので、バスに転換できる所は転換し、効率をあげて運行するという事。そのことについて、この調査で提示できればと思っております。</p>



議長 (天田町長)	他にありませんか。特になければ、報告案件について以上とさせていただきます。続きまして、次第の5のその他について、事務局より何かあればお願いします。
事務局長 (大塚課長)	特にございませぬ。
議長 (天田町長)	ありがとうございました。それでは、本日の議案審議は全て終了いたしました。皆様には、円滑な議事の進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。これで議長の職を解かせていただきます。
事務局長 (大塚課長)	ありがとうございました。本日は長時間にわたり、誠にありがとうございました。以上をもちまして「平成26年度第2回阿見町地域公共交通活性化協議会」を閉会とさせていただきます。大変お疲れ様でした。

阿見町地域公共交通活性化協議会会議運営規程第6条により、署名する。

署名委員名            武 藤 成 一    印

署名委員名            福 田 秀 明    印